



日本聖書神学校 神学基礎講座

2025 年度 後期講座のご案内

〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
☎ 03-3951-1102 FAX03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp

受講資格： すべての教会信徒に開かれています（正規の神学校のカリキュラムの一部を開放するものです）。
※教職者の方はご遠慮ください。

定 員： 若干名（定員になり次第締め切ります）

申込〆切： 2025 年 8 月 31 日（日）

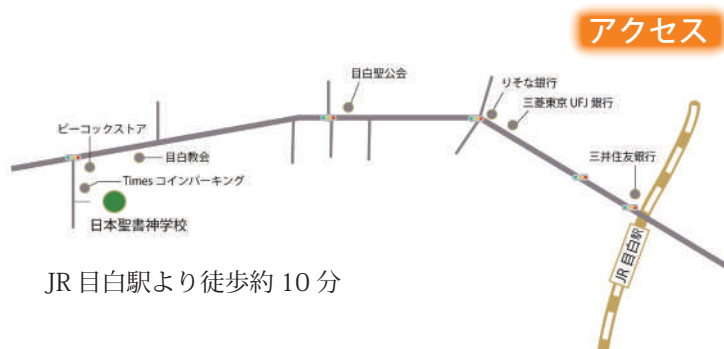
申込方法： 受講申込書に必要事項を書き込み、下記宛先まで郵送・FAX・Email にて送付してください。

受講料： 1 科目 15,000 円
※お申し込みいただいた後、振込用紙をお送りいたします。

申込および問い合わせ： 〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16 日本聖書神学校 神学基礎講座係
☎ 03-3951-1101 FAX03-3951-3044 Email: kyomu@jbts.ac.jp

受講予定の方へのお願い

- 図書館の利用について・・・講義の空き時間や待ち時間に本校図書館を利用される方が多くいらっしゃいます。本校図書館は、すべての教会信徒の方に開放されておりますが、最初に利用登録が必要となりますので、初めてご利用される方はカウンターで予め利用登録（年間 2,000 円）をお願いいたします。
- 授業について・・・授業によっては、レポート、授業での発表、試験などがあります。
- 講義の休講について・・・講師の都合等によってやむを得ず休講になる場合があります、受講回数が増える場合もございますので、予めご了承くださいませようお願い致します。また、補講が行われる場合もあります。
- 受講者の皆さんのレターボックス・・・様々な連絡のために用います。校舎 1F の奥に用意しました。



JR 目白駅より徒歩約 10 分

2025 年度（後期）神学基礎講座開講科目・日程表

2025年度神学基礎講座日程表（後期）

講 座	曜 日	時 間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
●新約概論(Zoom)	火	19:55-21:25	9月16日	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	1月6日	1月13日
●教会音楽	水	18:15-19:45	9月24日	10月1日	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	1月7日	1月14日
●キリスト教史Ⅰ	水	19:55-21:25	9月24日	10月1日	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	1月7日	1月14日
●キリスト教と文学	木	18:15-19:45	9月18日	9月25日	10月2日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	1月8日	1月15日	1月22日
●日本キリスト教史	木	18:15-19:45	9月18日	9月25日	10月2日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	1月8日	1月15日	1月22日
●旧約概論	金	18:50-20:20	9月19日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	1月9日	1月16日	1月23日

（注）休講等により授業回数・授業日時が変更になる場合がありますこと、ご了承ください。

新約概論 (Zoom) 火曜日 19時55分～21時25分

担当： 水谷 勤 講師
 講義日程:9月16日、9月30日、10月7日、10月14日、10月21日、10月28日、11月4日、11月11日、11月18日、11月25日、12月2日、12月9日、1月6日、1月13日の全14回
 新約聖書を構成する文書の神学的特徴を学び、執筆背景と原始キリスト教の様相について歴史的想像力をもって考察することを学びます。

「新約概論」は
 Zoom による
 授業になります
 (他の授業は対面)

講義計画

- [1] 概説— 原始キリスト教の周辺世界と歴史
- [2～4] 共観福音書、使徒言行録
- [5～7] パウロ書簡
- [8～10] 「牧会書簡」、「公同書簡」
- [11～13] ヨハネ文書、ヨハネの黙示録
- [14] 総括— 原始キリスト教の神学と文書成立過程

教科書・参考書

【教科書】

毎回のクラスにおいて、下記の参考書（図書館にあり）の中から予習箇所を紹介します。

【参考書】

笠原義久『新約聖書入門』新教出版社、2013年、1,500円
 G. タイセン『歴史・文学・宗教 新約聖書』教文館、2003年、2000円
 大貫隆、山内眞監修『新版 総説新約聖書』日本キリスト教団出版局、2003年、7,200円
 荒井献、中村和夫、川島貞雄、橋本滋男、川村輝典、松永晋一『総説 新約聖書』日本キリスト教団出版局、1981年、6,300円
 佐竹明、『使徒パウロ 新版—伝道にかけた生涯』新教出版社、2008年、2,750円（または、1981年出版、同名のNHKブックス）

キリスト教史 I 水曜日 19時55分～21時25分

担当： 柳下明子 教授
 講義日程:9月24日、10月1日、10月8日、10月15日、10月22日、10月29日、11月5日、11月12日、11月19日、11月26日、12月3日、12月10日、1月7日、1月14日の全14回
 古代教会の歴史は現在の教会の姿をとらえるうえで欠かすことのできない学びです。4世紀までの教会の歴史の中で代表的な思想家や大きな出来事を取りあげつつ、古代の教会の歴史を学びます。なお「中世」としてひとくくりにされる5世紀頃から15世紀頃までの歴史もキリスト教史Ⅱとの関連の中で触れてゆきます。

講義計画

1. イントロダクション
2. 2世紀までのキリスト教
3. グノーシス主義
4. 古カトリック教会の成立
5. テルトウリアヌスとキプリアヌス
6. アレクサンドリア学派
7. ローマ帝国と教会 1) 迫害から公認まで
8. ローマ帝国と教会 2) 承認とその反動
9. ニカイヤ公会議開催まで
10. ニカイヤ論争
11. コンスタンティノポリス公会議
12. アウグスティヌスの思想
13. 5世紀のキリスト論論争
14. 中世の教会 1) 修道院運動
15. 中世の教会 2) 十字軍

教科書・参考書

【教科書】

フスト・ゴンサレス『キリスト教史 上巻』新教出版社、2002年

【参考書】

適宜紹介する

教会音楽

水曜日 18時15分～19時45分

担当：
荒瀬牧彦 教授
高浪晋一 講師

講義日程:9月24日、10月1日、10月8日、10月15日、10月22日、10月29日、11月5日、11月12日、11月19日、11月26日、12月3日、12月10日、1月7日、1月14日の全14回

教会で礼拝に仕える者にとって、賛美歌の基本的な知識を身につけること、礼拝における音楽の働きについて正しい理解を持つこと、そして、自分自身がしっかりと歌えるようになることは非常に重要である。本講義では、賛美の神学的な側面や歌詞の歴史と解釈、礼拝における賛美歌の用い方等を荒瀬が受け持ち、音楽的な側面からの理解と歌唱指導を高浪が受け持つての二名体制で指導を行う

①特に、「息の使い方」を鍛錬して、「ことばを大切に歌う」ことを大切にする。②礼拝における牧師と音楽奉仕者のチームワークの重要性を学ぶため、教会音楽指導者・奏楽者のゲストを招いて、聖歌隊や奏楽に関わる現場からの声に耳を傾ける。③1月の学校礼拝（柳下明子教授説教）のデザインとリードを担い、祈りと音楽の組み立てを実践的に学ぶ。④二度の詞作ワーク行う。ワークBにおいては想定した説教に合った賛美歌を創作し、その演奏動画を期末レポートとして提出する。

講義計画

1. 神の言葉に仕えることとしての「歌う」行為
教会はなぜ歌うのか 賛美歌の定義
2. 賛美歌の歴史 聖書にみる賛美、古代教会
3. 賛美歌の歴史 中世のラテン語賛美歌（グレゴリオ聖歌）
4. 賛美歌の歴史 宗教改革① ルターと会衆賛美
5. 賛美歌の歴史 宗教改革② 詩編歌
6. 賛美歌の歴史 17～19世紀の賛美歌
7. 賛美歌の歴史 日本における賛美歌の受容と発展
8. 賛美歌の歴史 ヒム・エクスプロージョン
9. 賛美歌の歴史 『讃美歌21』とそれ以降
10. 聖歌隊の役割・奏楽者との協働
11. 礼拝順序・教会暦・主題に沿った賛美歌を選ぶために
12. 『こどもさんびか』・様々な楽器の活用
13. 学校礼拝のための準備
14. 賛美歌の創作・全体の振り返り

教科書・参考書

【教科書】

『讃美歌21』、『讃美歌（1954年版）』、『こどもさんびか改訂版』、
（その他、『賛美歌工房歌集Ⅱ』など）

【参考書】

『讃美歌21 略解』 日本基督教団出版局

『讃美歌21 選曲ガイド』 日本基督教団出版局

原 恵、横坂康彦『新版賛美歌 その歴史と背景』 日本基督教団出版局

横坂康彦『教会音楽史と賛美歌学』 日本基督教団出版局

越川・塚本・水野編『教会音楽ガイド』 日本基督教団出版局

横坂康彦『新しい賛美歌作家たち』 日本基督教団出版局

横坂康彦『現代の賛美歌ルネッサンス』 日本基督教団出版局

水野・荒瀬・中道他『音楽と宣教と教会』（関西学院大学神学部ブックレット13）

Andrew Wilson-Dickson, *The Story of Christian Music*, Fortress

Paul Westermeyer, *TE DEUM: The Church and Music*, Fortress

Don E. Saliers, *Music and Theology*, Abingdon

キリスト教と文学 木曜日 18時15分～19時45分

担当： 講義日程：9月18日、9月25日、10月2日、10月16日、10月23日、10月30日、11月6日、11月13日、11月20日、11月27日、12月4日、1月8日、1月15日、1月22日の14回
 柴崎 聡 講師

明治以降の近現代詩は、聖書をどのように表現してきたのか。「近代詩の創成者」である島崎藤村、童謡「赤蜻蛉」の作詞者である三木露風から説き起こし、16名の近現代詩の担い手たちの詩群を通して、その表現に至る工夫の軌跡を探究していく。創作の過程で詩人たちが聖書に関わる姿は、時に壮絶な格闘を思わせ、時にユーモアに安堵している休息を思わせる。詩人たちが聖書に魅かれながら詩を創造するのは、聖書が登場する人物たちの内面描写に極めて抑制的であることに起因しているのかもしれない。聖書の余白から、私たちは底知れない想像力を引き出されているのである。

講義計画

- | | | |
|------|-----|--------------------------------------|
| 授業1 | 序 章 | 新體詩の勃興 |
| | 第1章 | 近代詩を開拓した先駆者たち（島崎藤村、三木露風） |
| 授業2 | 同上 | |
| 授業3 | 第2章 | 「なのはな」の詩人と「ほのお」の詩人（山村暮鳥、八木重吉） |
| 授業4 | 同上 | |
| 授業5 | 第3章 | 「表現する詩人」と「物語る詩人」（石原吉郎、安西均） |
| 授業6 | 同上 | |
| 授業7 | 第4章 | 科学や数学に精通した詩人たち（島朝夫、高野喜久雄） |
| 授業8 | 同上 | |
| 授業9 | 第5章 | エバやマリアに共振する詩人たち（片瀬博子、塔和子） |
| 授業10 | 同上 | |
| 授業11 | 第6章 | 意味場の詩人と叙物詩の詩人（澤村光博、高橋喜久晴） |
| 授業12 | 同上 | |
| 授業13 | 第7章 | 四季派・叙情・童謡・牧師詩人たち（野村英夫、島崎光正、阪田寛夫、森田進） |
| 授業14 | 終 章 | 聖書の余白に贖われるブネウマの風 |
- *授業内容は、授業の進捗を見て、変更することがあります。

教科書・参考書

【教科書】

『詩人は聖書をどのように表現したか』（新教出版社、2022年、定価2100円＋税）を教科書として指定します。
 *毎回の授業においては、教科書の主題・課題にふさわしいプリントを補遺として追加して渡すことがあります。

【参考書】

柴崎聡著『詩の喜び 詩の悲しみ』（新教出版社、2004年、定価1900円＋税）
 柴崎聡著『文学の比喩 聖書の比喩』（新教出版社、2009年、定価1900円＋税）
 柴崎聡著『石原吉郎 詩文学の核心』（新教出版社、2011年、定価2200円＋税）

担当： 講義日程:9月18日、9月25日、10月2日、10月16日、10月23日、10月30日、11月6日、11月13日、
大久保正禎 講師 11月20日、11月27日、12月4日、1月8日、1月15日、1月22日の14回

日本プロテスタント・キリスト教史について、明治以降、戦前昭和期までの教会形成、伝道展開をたどりながら、その歴史の流れを概観します。各時期の特徴的な出来事を取り上げ、そこでの諸教会の対応、個々の伝道者・神学者・信徒などの信仰・思想に触れ、単なる歴史事象としてではなく、歴史に生きた信仰のあり方に学びます。その際の注目点は「教会と国家」です。国家の宗教政策や社会潮流に、キリスト教・キリスト者がどのように対応したかを検証し、それによって日本のキリスト教の特質がどのように形成されていったかを探ります。

講義の間に、当時の著作や研究文献について受講生によるリーディングレポートをしてもらいます。

講義計画

9月18日	宣教師の来日と宣教の開始
9月25日	三バンドの成立
10月2日	受講生のリーディングレポートとまとめ①
10月16日	内村鑑三不敬事件と「教育と宗教の衝突」論争
10月23日	植村・海老名論争
10月30日	受講生のリーディングレポートとまとめ②
11月6日	日清・日露戦争とキリスト教
11月13日	三教会同とエキュメニズム
11月20日	明治天皇の死去とキリスト教
11月27日	受講生のリーディングレポートとまとめ③
12月4日	大正期社会運動とキリスト教思潮
1月8日	日本キリスト教の朝鮮伝道
1月15日	神社参拝とキリスト教
1月22日	受講生のリーディングレポートとまとめ④

教科書・参考書

【教科書】

毎回、講義のレジメを用意して配付します。また毎回、参考文献を挙げます。その中からリーディングレポートをしてもらいます。

【参考書】

海老澤有道・大内三郎『日本キリスト教史』（1970年、日本基督教団出版局）

土肥昭夫『日本プロテスタント・キリスト教史』（1980年、新教出版社）

鈴木範久『日本キリスト教史 年表で読む』（2017年 教文館）

日本キリスト教歴史大事典編集委員会編『日本キリスト教史年表』（2006年 教文館）

旧約概論

金曜日 18時50分～20時20分

担当：
大石周平 講師

講義日程:9月19日、9月26日、10月3日、10月10日、10月17日、10月31日、11月7日、11月14日、11月21日、11月28日、12月5日、1月9日、1月16日、1月23日 の14回

旧約聖書を「物語られた地平」と「語り手の地平」の二重の視座を意識しつつ概観します。予習段階の読書課題として、下記のNHK ラジオ講座に基づく一般書に触れていただきますが、授業ではそこから基礎情報を拾い上げつつ、聖書学の知見による肉付けをします。第1～4回は全て講義形式で行いますが、第5回以降は、各回前半に発表者を立て、「主題」に取り組む予定です。発表者のため、参考書や資料を授業内で示します。授業後半には時間のゆるす限り、さらなる「副主題」に取り組めます。主題・副主題と読書課題（予習）の箇所および日程の予定は、以下のとおりです（変更の可能性あり）。

講義計画

授業で取り上げる主題（含：発表課題）	授業で掘り下げる副主題（講義・協議課題）	予習（必ず授業前に読む）	日程
1 序 多声の交わりの書	創世記 11「バベルの塔」～多様な解釈と影響	教科書第3章	9/19
2 伝承文学としての聖書 「物語られた世界」と「語り手の世界」～『ルツ記』を例に		オンデマンド動画	9/29
3 天地創造	創世記 1:26 民主化(?)された「神のかたち」	教科書第1章	10/3
4 エデンの園	聖書の人間論（創世記と詩編を中心に）	第2章	10/10
5 大洪水	聖書の神観～なぜ神は悔いるのか	第4章	10/17
6 アブラハム	創世記 22 愛児献供～「アゲダー」（縛り）の解釈多様性	第5章	10/31
7 ヤコブとその子ら	名は体を表す～イスラエルと十二部族の名祖	第6章	11/7
8 出エジプト	出 1～2 アッシリア的な帝国主義と出産（いのち）の現場	第7章	11/14
9 カナン定住	申命記主義的編集について～『士師記』を例に	第8章	11/21
10 ダビデとその後	『サムエル記』を読む～詩文やリストに注目して	第9章	11/28
11 預言者の言葉	サウルも、あるいはダビデも、預言者の仲間か?	第10章	12/5
12 預言者群像	「YHWHのみ運動」から「一神信仰」への目覚め	第11章	1/9
13 小さき者たちの神	知恵の伝統と『ヨブ記』	第12章	1/16
14 結びにかえて～平和の祈り	コンコルダンスの使い方～ケーススタディ「鳩」全体の読み直し		1/23

教科書・参考書

【教科書】

月本昭男『物語としての旧約聖書 人類史に何をもたらしたのか』（NHK ブックス、2024 年）【ISBN978-4-14-091283-6】
可能な限り各自購入しておいてください（1,800 円＋税）

【参考書】

授業のなかで紹介します。適宜資料も配ります。※ 聖書は、聖書協会共同訳を用いますが、ご持参いただくのはどの翻訳でもかまいません。

- ※ 申込〆切：2025 年 8 月 31 日（日）
- ※ 下記宛先まで FAX・メール・郵便でお送りください（メールの場合、本文に各事項を記していただいてもさしつかえありません）神学基礎講座ホームページの申込フォームからもお申し込みいただけます。

F A X 03-3951-3044 メール kyomu@jbts.ac.jp

郵送先 161-0033 新宿区下落合 3-14-16 日本聖書神学校 神学基礎講座係

神学基礎講座 受講申込書

私は、日本聖書神学校主催の2025 年度神学基礎講座の受講を申し込みます。

2025 年 月 日

名前 _____（ 歳）

現住所	〒 _____
受洗年月	年 月
所属教会	牧師名 教会 （ ）
電 話	_____
携帯電話	_____
Eメール	_____（講師の都合などで休講になる場合の連絡先）
受講科目	_____